

三ツ岩岳~窓明山~家向山~巽沢山 山行報告

【山城】南会津

【ルート】三ツ岩岳~窓明山~家向山~巽沢山

【登山方法】避難小屋泊縦走

【日程】2019年11月2日(土)~3日(日)

【参加者】CL 澤田路・SL 鈴木憲・大木・清野・鈴木愛 (記録)

【行程】

○1日目

千葉 4:30⇒東北道西那須野 IC⇒9:30 国体コース三ツ岩岳登山口⇒保太橋登山口と国体コース登山口の中間地点の道路の路肩に駐車する。→国体コース登山口 9:50 登山開始→旧道分岐 11:47→13:52 避難小屋 14:13→14:56 三ツ岩岳頂上 15:13→避難小屋着 15:46 (泊)

○2日目

避難小屋 6:46 発→7:01 水場 7:10→湿原→7:51 窓明山 8:07→9:18 家向山分岐 9:27→9:40 家向山頂上 9:45→10:02 家向山分岐 10:30→11:33 巽沢山→12:20 保太橋登山口→駐車地点着 12:26 登山終了⇒窓明けの湯で汗を流す⇒帰葉

【記録】

○1日目 天気 晴れ

ネットの情報によると、三ツ岩岳は南会津町の旧伊南村を代表する名峰で会津駒ヶ岳を中心として南北に連なる山塊(南会津アルプス)の一角を占める山である。

平成7年に開催された福島国体で、山岳競技の会場となった時に、登山コースが整備されたとの事である。

国道352号線の小豆温泉スノーシェットの途中に小豆温泉(現在は廃業)への入口(T字路)を入った所に三ツ岩岳へ向かう人の為の駐車場がある。そこに登山ポストもあり、山行計画書を入れる。そこに駐車すると、周回コースを歩き終えた時、駐車場まで遠いので、保太橋登山口と国体コース登山口の間で道路の路肩が幅広くなっている所があり、そこに駐車する。



さあ これから出発 頑張ろう!



旧道分岐を目指して 歩き始めて間もない時の森

9:50 登山開始。その駐車地点から国体コース登山口まで歩いて行き、先ず旧道分岐を目指す。最初から急登。避難小屋の前の水場が枯れているかもしれないとの事で水を2.5lを持ち、寝具、食料、コッヘル等々を入れたリュックが重く肩と腰にずっしりきて、喘ぎながら登る。

歩き始めて間もなくからブナともみじの美しい紅葉にみんな歓声をあげながら歩く。40分ほど歩くと、葉を落とした木々の間から目指す三ツ岩岳が見え隠れし、頑張るぞという意欲がわいてくる。

そして旧道分岐着 11:47。「黒桧沢ルートは登山道が崩壊しているため、利用できません。国体コースを利用してください」と書いてある看板があった。

そこから1時間程登ると、見晴らし台に着く。那須連峰など遠くの山波が美しい。ネットの情報によると、見晴台から15分ほど登ると、道端に小さなお地藏様が置かれている由であったが、私は気が付かず通り過ぎてしまった。



見晴台から見た尾瀬方面の山波



歩き始めて40分位の時、見えた三ツ岩岳

更に歩を進め、湿原の木道を歩いて5分ほどで避難小屋に着いた。小屋の前に水場はあったのだが、水は出ていなかった。ネットの記録によると、窓明山方面へ30m進んだ所(歩いて片道15分位)にも水場はある由であった。今回私達は明日の分も必要分持ってきたので、今日はその水場には行かなかった。



11月2日に泊まった避難小屋



11/2、歩き始めて30位の所の紅葉

小屋で、リュックからエアマット、シュラフなどを出し広げ、今宵の寝場所を確保する。その後、水とヘッドランプと必要な物だけ持ち三ツ岩岳を目指す。途中、木道の所がアイスバーン状に凍っていて

滑りそうで、そこを避けて歩く。その先も水たまりが凍っている所や霜柱が沢山あった。そして三ツ岩岳山頂着 14:56。那須連峰、尾瀬の燧ヶ岳、至仏山、日光白根山など他の山々が綺麗に見えた。約 20 分弱頂上でゆっくり休憩する。



三ツ岩岳山頂にて



三岩岳山頂から下山途中に見た窓明山

ネットの情報によると、厳密には、200m程南西方向にあるピークの方が三角点のある場所よりも標高が少し高いそうである。でもそこは、夏道はなく藪こぎが必要との事、だから私達はそちらのピークには行かなかった。往路を辿って避難小屋に帰る。途中、明日登る予定の窓明山、家向山が見えた。そして避難小屋着 15:46。(泊)



O シェフ特製のビーフシチュー



ビーフシチュー 美味しかったね！

今宵の避難小屋の宿泊者は私達のみ。貸し切り状態で嬉しくなる。小屋も綺麗で快適に過ごせた。夕飯は O シェフの特製ビーフシチュー (特製のスープ、牛すじ肉と、牛もも肉入り)、フランスパン。M リーダーのごぼうサラダ。あと自分の持参した物。私達 S 家は山食にこんなに手をかけず、お湯をかければ良い物ばかりで、O シェフ、M リーダー、とても美味しかったです。有難うございました。山でこんなに美味しい物を頂け、幸せでした。みんなで山談義に花を咲かせ、楽しいひと時を過ごす。

そしてシュラフの中に 18:30 にはもぐりこんだ。避難小屋まで思いリュックを背負って急坂の連続を 4 時間歩き、その後、小屋から三ツ岩岳をピストンし、疲れたので私はすぐに深い眠りにおちた。

眠る前、小屋の前で見た星空がとても綺麗であった。

○2日目 天気 晴れ時々曇り

5時起床。6:46 出発。小屋から 15 分歩いたら水場に着く。水量豊富な水場ではないが、冷たく美味しい水であった。

そこからしばらく歩くと、湿原があり、草紅葉となっていて綺麗であった。更に歩を進め、窓明山着 7:50。出発時は晴れ間も見え、稜線では綺麗な山波が見えた時もあったが、窓明山山頂に着いた時は周りの山は、ガスで見えなかった。



避難小屋から 15 分の所にある水場(水量は少ない)



小屋から 30 分位の所の湿原にて

そして次は家向山を目指す。家向山への分岐に 9:18 に着く。家向山は登山道から少し離れている。そこで家向山へ行くかどうか、みんなで話し合う。私はせっかく周回コースを歩きに来たし、家向山はそのコースから少し離れているが、コース上にその山の名前が載っているの、載っている山は全部登りたいと思った。



窓明山山頂にて



ゴゼンタチバナの葉の紅葉

結局行きたい人が行くという事になり、Sさんが荷物番をしてくれる事になり、他4人で家向山に行く事になった。行く前にMリーダーが少し偵察に行き、行けそうという事になり出発する。

家向山へ行く登山者はいないのか道らしき道はない。背丈の高い笹とすっかり葉の落ちた広葉樹の木の枝をかき分けながら、GPSを頼りに進む。最初、ヤブは薄かったが進むにつれ、ヤブは深くなって

いった。でも私以外の3人曰く「Tさん達と行くヤブ山はこんなものではない。もっと深いヤブだよ」と。途中20~30m位、ヤブをかきわけなくても良い所があった。

GPSが教えてくれた家向山山頂着9:40。三角点を探すのが、なかった。標識もなかった。眺望もなかった。写真を撮ってさっさと降りる。家向山は登山道との分岐から往復35分間のヤブ山登山であった。



家向山山頂にて



巽沢山に向かう途中の所にて

その家向山との分岐の所で、今回の山行は、あと1時間で終わりだから、ここで大休憩しようという事になり、ゆっくり歓談し楽しいひと時を(30分弱)過ごす。

更に歩を進め、巽沢山を目指す。1200m辺りから登山道の両脇に紅葉した木々が沢山現れ、素敵なかを歩いた。そして巽沢山着11:33。巽沢山は眺望がなかった。巽沢山からの下りは急坂が続き、枯れ葉が沢山積もっていて滑りやすく、その為にトラロープが何か所も設置してあった。そして今回の山旅の周回コースの終点の保太橋登山口着12:20。駐車地点着12:26。その後「窓明けの湯」で汗を流し帰葉した。



巽沢山から下山の時の紅葉



巽沢山から下山時の紅葉



巽沢山頂上にて



きつい急登の時、励まされた赤ちゃんもみじの紅葉

カメラマンの「1 + 1は？」の問いに
正解はどなた？ 「5ー！」「3ー！」のおとぼけ賞は？

○今回の山旅を終えての感想

山に行く前に、Mリーダーが今年の10/25に私達と同じ周回コースを歩いた人の記録を送ってくれました。それを見ると、紅葉が最盛期でとても美しい写真が沢山載っていました。その記録の日から私達は1週間も過ぎていたので、紅葉は期待できないかなという思いで南会津へ向かいました。そしたら意外にもまだまだ1200m位から下は、とても美しく紅葉していて、幸せな気分になりながら歩きました。

今回の山旅で出会った人は女性の単独行の人、一人だけでした。静かな山旅が楽しめました。ちば山の皆さんに、ぜひ紅葉の時期に登ることをお勧めします。本当に素敵な良い山でした。又、残雪期に会津駒ヶ岳からの周回も良いと思いました。(Kさんの意見)

今回のコースを日帰りで行くと、地図のコースタイムだけで8:20で休憩をプラスすると、9:40から10:00になって、急ぐ山旅になってしまいます。でも今回の私達のように避難小屋泊にすると、少しリュックが重くなりましたが、4時間頑張れば小屋に着きます。仲間たちと小屋でゆっくり楽しめずし、行動中もゆっくり歩け、あまりにも美しい紅葉の中、降りることがもったいないと、大休憩を何度かして紅葉をたっぷりゆっくり楽しみました。避難小屋泊のこんな山旅もいいなと思いました。ご一緒した皆さん、楽しい山行でした。偏に皆さんのお陰と感謝の気持ちでいっぱいです。大変お世話になり有難うございました。

